

第5回大月市教育委員会定例会 会議録

- ・ 開催日時 令和2年7月30日(木曜日)
午前10時00分から午前11時00分
- ・ 開催場所 市役所第2庁舎4階会議室
- ・ 出席委員 宇野誠教育長、中村順一郎教育長職務代理者、
野尻正人委員、庄司有紀委員、白須康子委員
- ・ 出席職員 安藤教育次長兼学校教育課長、金畑社会教育課長
上條こどもの学び支援担当リーダー
杉本学校づくり担当リーダー
- ・ 傍聴人 なし

[会 議]

1 開会

【教育長開会宣言】

2 会議録の承認

職員が、令和2年度第4回定例会会議録を朗読し承認された。

3 教育委員会報告

教育長から、令和2年6月25日から令和2年7月30日までの教育委員会活動が報告された。

4 議事

議案第11号 令和3年度使用教科用図書採択について

(非公開)

〔説明〕 宇野教育長

【原案どおり決定】

議案第11号 令和元年度大月市教育委員会の教育行政点検・評価について

〔説明〕 安藤教育次長

このことにつきましては、前回の6月定例会におきまして、議案第10号として提出させていただき、事前に資料配布していたことなどから、内容の説明は特にいたしませんでしたが、ご意見等をお伺いしました。さらに、受付け期間を7月15日まで

とし、ご意見等があれば事務局へお願いしますといたしましたが、その後、委員さんからの意見等はありませんでしたので、ご報告させていただきます。

なお、事務局において、2箇所訂正をさせていただきましたので確認をさせていただきます。報告書の2ページをお開き下さい。上の表の一番下の行、(14)文化財を指定し、または指定を解除することの前年度の評価の欄ですが、1件指定の解除がありましたので、斜線ではなくAに訂正いたしました。5ページの一番下の行の、前年度・評価の欄についても同様に、斜線からAに訂正いたしましたのでよろしくお願いいたします。

本日、改めまして「教育行政点検・評価報告書」を議案として提出させていただきましたが、ご審議のうえ、承認していただきますようお願いいたします。

なお、今後の予定であります、「議会に提出し公表すること」が法律で規定されていることから、8月市議会定例懇談会の場において説明し、市のホームページに掲載する予定であります。

【原案どおり決定】

5 その他

(1) 今後の本市のICTに関わる教育について

〔説明〕宇野教育長

お配りしました「非常時における「オンライン学習」大月モデル」という資料は、既に学校に配付したものになります。ここでは、詳しく説明しませんが、教育委員の皆さんにもご承知おきいただきたいので、また目を通しておいてください。

それでは、今後の本市のICTに関わる教育について、説明させていただきます。前にもお話ししましたが、今後、7校の全普通教室に65インチ電子黒板と教師用のノートパソコン1台を整備します。また、各校に2台ずつの書画カメラ（実物投影機）も整備します。令和2年度中には文科省の「GIGAスクール構想」により児童生徒一人一台端末の整備をします。7校すべてに本年度中に無線LANの構築を完了します。教師用のパソコンと児童生徒用の端末は、今のところマイクロソフト社のWindowsを導入する予定です。

電子黒板は昨年度大月東小学校に先行整備して、取り組み事例を蓄積している状況です。ここから、繰り返しますが、全普通教室において電子黒板、教師用パソコン、児童生徒一人一台端末が整備され、デジタル教科書やマイクロソフト社の学習支援システム「Teams」が使えること、また校内どこからでもインターネットに接続できるなど、ICT環境が飛躍的に整備されることになります。電子黒板と教師用パソコン、児童生徒一人一人がもっている端末をつなぐことによって、教師が机間指導をしながら一人一人の学習状況をつかむことができ、それぞれの課題やつまづきを把握でき、個別に指導ができることになります。また、児童生徒が書いた文章や図式等が瞬時に電子黒板に投影できて共有することができるようになります。さらに、教師が示した課題等が一人一人の端末に表示され、個人で取り組んだり、グループで協議しやすくなったりします。書画カメラで、観察物を細かくきれいにみることもできます。書写

などで教師の書きぶりや書き順などを全員で見ることができます。

ここまで物理的にICT環境がそろった経験のない本市の教師にとって、どう効果的に使いこなして学習のより良いツールとして活用できるか、子どもたちの理解を進め、学力の向上等につなぐことができるか、前例のないことなので手探りで先行実践を参考にしながら進めていくこととなります。従来型の授業とICTを活用した授業の「ハイブリッド型の授業」を目指していくことになるのだろうと思っています。また、7校のICTに詳しい教員とICT支援員、教育委員会で構成した「ICT担当者会」で協議し、研究して、ICT担当の教員にそれぞれの学校での研修のけん引役となることを依頼しています。

もう一点、新型コロナウイルス感染症拡大予防のための再度の臨時休校等の非常時に備えて、従前の紙資料による家庭学習に加えて、「オンラインによる学習」を模索しています。平等性の担保を少しでもしたいと考え、家庭でのネット環境の状況調査を5月末に終え、数に限りはありますが、学校に既に配備されているタブレット端末と、前にもお伝えしましたが、新たにモバイルルーターを市で一定数購入して、それを貸し出す準備をしています。本市の考える非常時における「オンライン学習」については、別紙「非常時における『オンライン学習』大月モデル」にまとめましたが、zoom等の無料ツールを利用して学校と家庭(子どもたち)とのつながりをつくり、教科書をもとにして、文科省の「子どもの学び応援サイト」等のWeb上の良質の学習コンテンツを活用しての学習や「Microsoft Teams」を利用しての学習などを想定しています。「既存の学習コンテンツを活用した『オンライン学習』の手引」を作成し、あわせて小学校では大月市のホームページに、国語・算数・理科・社会生活科の大月市採用の教科書の単元に沿って、良質な学習コンテンツにリンクできる「大月市家庭学習支援サイト」をアップしました。これは教育支援室で作成してくれました。こういったことをもとにして学校での研修や児童生徒へのトレーニングをお願いしているところです。

以上です。

【了知】

(2) その他

- ・ 市長との意見懇談会について
中村教育長職務代理者

前回の教育委員会で市長との意見交換会ができればいいということを提案したのですが、安藤教育次長がそういった場を設けることは可能だとおっしゃっていましたので、ぜひ、実現させていただきたい。先程のICT教育の話も市長がそのように考えているのであれば、我々も大月市をPRしていきたいし、応援していきたいと思う。市長の考えをもっと知りたいので、ぜひ、よろしくお願いします。

- ・ ICT教育について

野尻委員

デジタル教科書を使うと、今まで教材準備をしていた教師の手間も少なくなり、子どもたちにとっても見やすくわかりやすい授業になるだろうと感じています。せっかく整備するものなので、先生方に負担はあるかもしれないけれど、ぜひ子どもたちに生きて働くような整備になるように、努めていただきたい。もっと言えば、それが大月市のPRになるような先進的なものになるといいと思います。

また、ICT支援員に小宮山先生がいらっしやって大変有難いと思いますが、学校現場以外で大月市にもICTに長けた方がいらっしやるので、そういう方の活用を、学校応援団的なものとして、ゆくゆく考えていってもいいかと思います。

庄司委員

ICT化について、時代に対応していく必要があり、それによって質の良い教育ができるようになることは、とても良いことだと思っています。コロナで大変ですが、逆に言うと大月市はこれがチャンスだと思っていて、密はないし、自然は豊か、東京への通勤もできる。これで、質の良い教育をしているとなると、子育て世代が移住を考える要素になるのではと思います。

白須委員

庄司委員の意見に全く同感です。何か問題が起こると人間の反応として、それに反発したくなる気持ちと、そこを乗り越えて、覚悟を決めて受け入れようとする気持ちがあります。何にしても自分たちの心構えが一番大事だと思っています。やるぞと決めて、そして、それにチャレンジするという気持ちで取り組めばいいのかなと思います。

実際に自分も4月からコロナ禍に巻き込まれたうちの一人で、突然その状態になってしまいました。大学の場合は、何の研修もなく遠隔授業になりましたから、ただパソコンで送られてくる書類を自分で読み進め、なんとか形にしたというところなので、現場でこのICT教育が始まれば、先生方は普段でもお忙しいのに、ますます負担が大きくなってしまふことが懸念されます。また、これは、年齢は関係ないものだと思います。若い先生だから大丈夫だろうとか、ご年配の先生だから時間がかかるだろうということではなく、全ての方にきちんと研修の機会を設けて、できれば、保護者も巻き込んでやっていけたらいいと思います。保護者の中にもいい知恵を持っている方がいらっしやるかもしれないので、家庭と学校が一緒になって一つのチームとしてやっていけるといいのではないかと思います。

・令和2年8月27日(木)午前10時から第6回教育委員会を開催することを確認。

6 閉会

【教育長閉会宣言】